

23区内初のJR東日本旧社員寮リノベーションプロジェクト
シェア型賃貸住宅「Social Base HIGASHINAKANO」
2023年3月開業

株式会社ジェイアール東日本都市開発（東京都渋谷区/代表取締役社長 根本英紀）は、シェア型賃貸住宅「Social Base HIGASHINAKANO」（ソーシャルベース東中野）を開発、2023年3月25日より開業・入居開始することをお知らせいたします。

本計画は、東日本旅客鉄道株式会社が保有していた旧社員寮をリノベーションにより再生したシェア型賃貸住宅で、同タイプの資産活用例では23区内初となります。

今後、入居者向けイベントをはじめとして、運営を担う株式会社JR 東日本ソーシャルデザイン（東京都目黒区/代表取締役社長 麻生次郎）と施設のコミュニティ作りをサポートしていく予定です。



Social Base HIGASHINAKANO

■ 本物件のコンセプト

本計画では、シェア型賃貸住宅が持つ出会いの機会、交流の魅力に加え、テレワーク、ノマドワークを始めとした多様な働き方に対応する、拠点となる住まいの創出を目指しました。

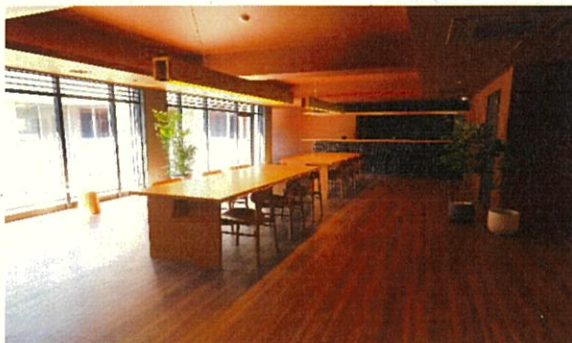
東中野駅徒歩4分という好立地と物件規模を活かした多様な居場所、充実した環境を整えることで、自分にとっての暮らしやすさ、働きやすさを大切にできる暮らしの拠点を提供します。

■ 本物件の特徴

1. 物件規模を活かした充実した共用部

本物件規模だからこそ実現できた11種類の充実した共用空間。

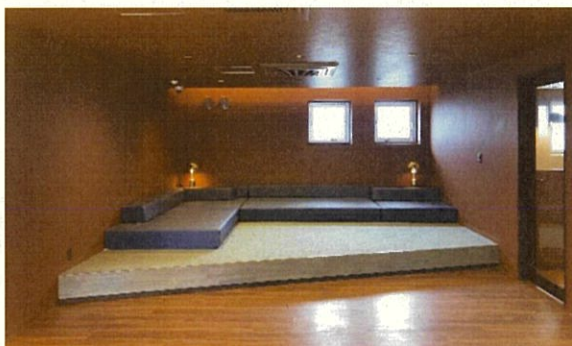
- 全102世帯の大型物件
- ダークトーンでまとめた落ち着いた落ち着きのある空間
- 暮らしやすさ、心地よさを提供する
ラウンジ、ダイニング、シェアキッチン、ワークルーム、ライブラリー、テラス、中庭
- 暮らしの楽しさを演出する
シアタールーム、ミュージックルーム、ジム、スタジオ



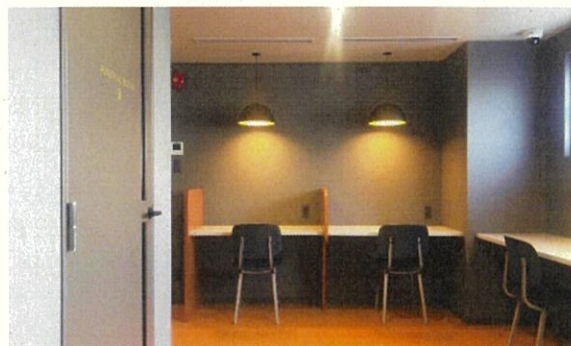
▲ダイニング



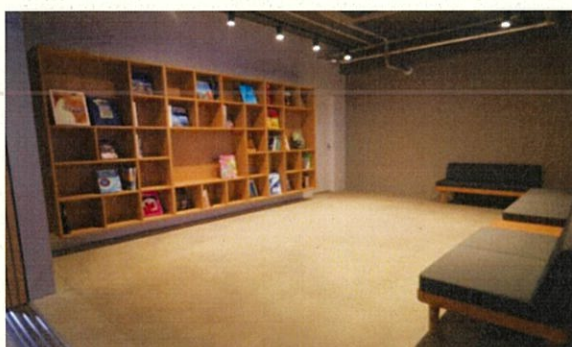
▲シェアキッチン



▲ラウンジ



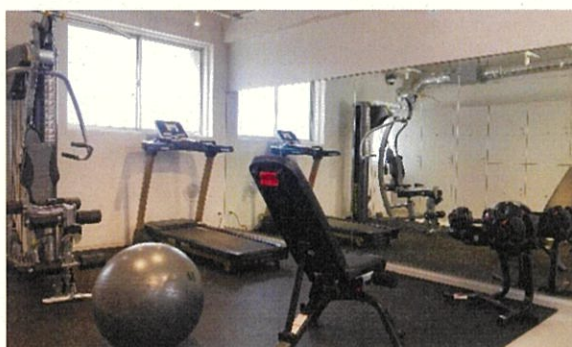
▲ワークルーム



▲ライブラリー



▲ミュージックルーム



▲ジム



▲スタジオ

本物件の特徴

2. 入居者と地域とのつながりをつくるセミパブリックな空間

東中野の街に地縁をもって頂き、暮らしをより豊かにする仕掛けづくり。

エントランス・ライブラリー・テラス・中庭をセミパブリックエリアと位置付け、イベント時に地域開放できる設えとしています。

今後開催を予定する、運営事業者主催・入居者主体によるイベント利用、キッチンカーの期間出店等を通して、積極的に本物件と近隣住民とをつなぎ、繋がりを通じた縁・新たな交流を生むまちづくりを展開していきます。



▲テラス・中庭



▲エントランス

3. 個室空間と生活環境

シンプルなお中に安心感と落ち着きのある生活空間。

個室は、ベージュ、ブラウン、ブルーをアクセントとした3種類。全個室にベッド、テーブルセット、照明、エアコンを始めとした生活に必要な家具類^{※1}とインターネット環境を備えています。

共用部には、個室同様インターネット環境と生活に必要な調理家電、洗濯機・乾燥機などを備え、入居と同時に快適な日々をお過ごしいただけます。

※1 寝具等を除く



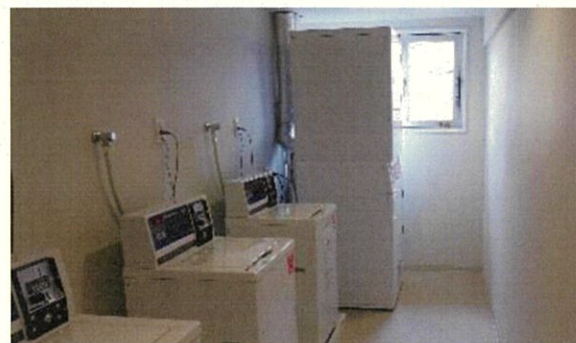
▲個室（ブルー）



▲シューズクローク



▲廊下



▲ランドリー